

<略歴>

藤吉憲典。1966年熊本生まれ。1984 佐賀県立有田工業高等学校デザイン科を卒業。東京でグラフィックデザイナーを経験した後、佐賀に帰省。複数の窯元でデザイン・商品開発・技術指導を担当し、1997年陶芸作家として独立開窯。現在は福岡県に工房兼住所を構える。「古伊万里」の名前で知られる肥前磁器の伝統工芸文化・技術を基礎に作品を制作。特に17世紀から19世紀のものを師とする。磁器を素材とした食器、彫像、彫刻、陶箱等を制作。

<最近の主な展覧会>

- 2018** 肥前磁器の美 藤吉憲典展 (銀座黒田陶苑、東京)
- 2017** KENSUKE FUJIYOSHI Original unique porcelain sculpture and boxes (SLADMORE CONTEMPORARY, London)
藤吉憲典 陶展 (桃居, 東京)
- 2016** Five Ceramists (SLADMORE CONTEMPORARY, London)
藤吉憲典 個展 (銀座黒田陶苑、東京)
- 2015** Collect The International Art Fair for Contemporary Objects (SAATCHI GALLERY, London)
藤吉憲典 陶展 (桃居, 東京)

<主なプライベートコレクション>

Lady Victoria Getty (United Kingdom)
Mark Parker (United States)
Omer Koc (Turkey)
Percy and Clara Weatherall (United Kingdom)
David Harding (United Kingdom)
Takashi Murakami (Japan)

<主なメディア掲載等>

2018年11月号『炎芸術136号』（阿部出版）特集「陶芸家の食の器」（予定）
2018年1月号『ミセス』（文化出版局）特集「福を招く、正月」
2016年10月発刊『禅に学ぶ台所しごと』（リベラル社）
2015年1月放送NHKドラマ『ここにある幸せ』器協力
2014年5月『日本酒基本ブック』（ワイナート編集部）「酒器にこだわる」

<アーティスト・ステートメント>

わたしには師匠がありません。この道に導いてくれたのは、窯元勤め時代に指導してくれた先輩たち、そして江戸時代の陶工が遺してくれた肥前磁器の銘品の数々。これらこそがわたしの師です。分業があたりまえの磁器の世界で、かたちも絵付もすべて一人で行っています。一人の手でつくるからこそ生まれる調和を大切にしています。細部へのこだわりの積み重ねと、全体の調和とが、美しさを決めると感じています。そして、真に美しいものは機能的です。

肥前磁器の伝統工芸技術・文化を、現代アートに繋げることを使命としています。やきものは割れものですが、丁寧に扱えば子々孫々に受け継いでいくことのできるものでもあります。数百年後も遺っていくものを作りたいと思っています。

藤吉 憲典